

補助事業番号 2022P-276

補助事業名 2022年度 地域社会の共生に資する研究事業 補助事業

補助事業者名 東京大学大学院総合文化研究科ギフテッド創成寄付講座 池澤聰

1 研究の概要

ギフテッドとは「同年代の平均よりも、顕著に高度な知的能力(を持つ人)」と定義される(National Association for Gifted Children)が、彼らの能力を十分に成長させるには既存の精神保健福祉サービスや就労相談事業にはない支援や活動が必要である。

また、ギフテッドと同様に、その発達特性のために、社会適応の困難さにつながる特性として Highly Sensitive Person(HSP)がある。HSPは環境感受性あるいはその気質・性格的マーカーである感覚処理感受性)が極めて高い人々を表し、繊細な発達特性を有する方々を指すが、このような特徴を有する方々も、ギフテッドの特徴を有する方々と同様に、職場で不適応など種々の心理社会的機能上の問題を抱えることがある。

このような心理社会的な問題に直面した場合、医療や福祉による支援を求めることもある。しかし、残念ながら医療・福祉の専門家の間でもギフテッドという概念の認知度が低いことも影響し、自閉症スペクトラム障害や注意欠陥多動性障害などの「発達障害」と誤診され、その能力を生かした適切な支援が行われていない。

そのため、成人後も仕事で正当な評価を受けられず、職場で不適応を生じるなど、多大な心理社会的機能上の問題を抱える。

就労などの様々な場面で困難に直面していることが想定されるが、本邦における実態は不明で、介入方法や支援方法については全く開発されていない。

本研究では既存の精神保健福祉サービスや教育相談事業等を参考に、ギフテッドやHSPなど発達障害のグレーゾーンの特性を持つ人々を対象とした包括的地域生活支援の社会実証研究を行う。

個別化支援の研究開発として、ギフテッドやHSPなど発達障害のグレーゾーンの特性を持つ当事者や家族を対象として個別化させた形で支援計画策定・訪問支援・就労支援・関係者会議を含む支援活動を行う。

特に当事者の家族は、様々な負担を抱えながら、当事者への適切な接し方にも情報が不足している。そこで、親や支援者を対象として、困難感の共有とともに、親子関係を育む心理社会的プログラムを開発する。さらに、社会的包摂研究開発としては、ギフテッドやHSPなど発達障害のグレーゾーンの特性を持つ当事者や家族のニーズと支援充足度を確認し、地域社会や企業に向けた啓発活動も行い、就労支援、社会参加を促進することを目指す。

3 研究内容

(1)個別化支援活動

ギフテッドやHSPなど発達障害のグレーゾーンの特性を持つ当事者や家族を対象として個別化さ

せた形で以下の支援活動を実施。

- ・**支援計画策定**: 当事者、家族と専門家が面談。個々の特性や目指している目標に基づいて、個別化した支援計画を策定。
- ・**VR(バーチャル空間)支援**: ひきこもり傾向を有する当事者や「対面での困難さ」の克服と生活環境調整を必要とする当事者を中心に実施
- ・**就労支援**: 個々の特性のために就労が出来ずにいる当事者に対して、当事者自身の特性理解を促す。既に就労中の当事者で、適応が困難な場合には、職場に当事者の特性を共有し、課題を洗い出す。

(2) 社会的包摂事業

- ・**社会的包摂事業**: ギフテッドやHSPなど発達障害のグレーゾーンの特性を持つ当事者や家族のニーズと支援充足度を確認し、地域社会における啓発活動を行い、社会参加を促進する。
- ・**当事者ミーティング**: 当事者の特性に基づく、社会生活における困難さや自己対処などを共有。
- ・**家族教室**: 当事者への適切な接し方の情報が不足している。困難感の共有とともに、親子関係を育む場を構築する。※家族教室では、家族に対して心理教育プログラムを実施(SEN(Supporting Emotional Needs of the Gifted)が開発した「Gifted Parent Groups: The Seng Model 第2版」を元に開発)
- ・**公開講座**: ギフテッドやHSPなど発達障害のグレーゾーンにおける社会適応の困難さなどを情報発信し、認知度の向上を目指す

4 本研究が実社会にどう活かされるかについての展望

ギフテッド(1 つまたは複数の領域において、同じ年齢、経験、環境の人と比べて、より高い水準の能力を発揮している、または発揮する能力(を持つ人): 全米ギフテッド教育協会)やHSPなど発達障害グレーゾーンと呼ばれる特性を持つ当事者及び家族・周辺関係者(教育機関や精神保健福祉専門家等)を受益者として下記のニーズが想定される。

- ・特性の不理解による環境への不適応、対人関係の困難の解決
- ・地域社会からの孤立・孤独感の解消、特性を理解した専門家による適切な支援
- ・地域社会・企業といった社会全体における認知度の向上

彼らの能力を十分に成長させるには既存の精神保健福祉サービスや就労相談事業にはない支援や活動が必要であり、地域社会や企業に向けた啓発活動も行うことで、ギフテッドやHSPなど発達障害のグレーゾーンの特性を持つ当事者への理解が深まる事で、就労支援、社会参加の機会の創出と促進が見込まれる。

5 教歴・研究歴の流れにおける今回研究のいちづけ

平成14年より精神科医として大学病院、民間医療施設、ナショナルセンター等で認知機能と心理社会的機能の臨床及び研究に携わり、2020年7月に現職に転任。転任後は、ギフテッドの特徴を

持つ方々(児童・成人)の評価や支援のあり方の検討や社会実践に取り組む。
観察研究と並行し、企業や教育機関等と連携しながら、当事者及び保護者を対象とした心理社会的介入のあり方も検討を始める。

6 本研究に関わる知財・発表論文等

なし

7 予想される事業実施効果

本事業はギフテッドやHSPといった発達障害グレーゾーンの特性を持つ当事者や家族、その周辺関係者を対象として実施するが、メタバース空間やオンライン会議システムを利用した個別就労支援プログラムや個別支援活動プラットフォームは、個人ごとの特性に基づき、そのニーズが集約された支援システムとして、より望ましい支援モデルとなりうる可能性を持っており、その発展性は極めて大きいと考えられる。

8 補助事業に係る成果物

(1)補助事業により作成したもの

オンラインシンポジウムのオンデマンド配信動画

Vimwoオンラインサイトで、申込制による限定配信

2022年10月21日実施分

【配信用URL】【視聴用パスワード】「BP.v3c,FL3」

・ギフテッドの特性を持つ方々のメンタルヘルスと心理社会的側面について

<https://vimeo.com/768808807>

・個才の時代—好奇心と情熱から花咲く学びとは—

<https://vimeo.com/768808531>

・発達障害人材活用によるインクルーシブ&イノベーションに必要なこと

<https://vimeo.com/768808264>

・総合討論

<https://vimeo.com/768860323>

2023年2月12日実施分

【配信URL】【視聴用パスワード】「Sx2p5S~*.t2」

・企業におけるDE&Iとギフトドの受け入れに関する課題

ーニューロダイバーシティの視点からー

株式会社野村総合研究所 コンサルティング事業部 高田篤史氏

<https://vimeo.com/800720074>

・芸術系ギフトドの自己実現と社会参加への道程

株式会社オパルス 代表取締役 立花奈央子氏

<https://vimeo.com/800720187>

・ギフトド当事者からみる仕事と環境の選び方

株式会社メルカリ シニアピープルアナリスト 吉沢拓氏

<https://vimeo.com/800720350>

・雇用の仕組み・実務からギフトドの就労を考える

日系企業勤務 高橋氏

<https://vimeo.com/800720464>

・総合討論

<https://vimeo.com/800720545>

(2)(1)以外で当事業において作成したもの

オンラインシンポジウム WEBブック (<https://www.gifted.c.u-tokyo.ac.jp/research/e-book>)

9 事業内容についての問い合わせ先

所属機関名： 東京大学大学院総合文化研究科ギフトド創成寄付講座

(トウキョウダイガクダイガクインソウゴウブンカケンキュウカ

ギフトドソウセイキフコウザ)

住 所: 〒153-8902

東京都目黒区駒場3-8-1

担 当 者 特任准教授・池澤 聡(イケザワ サトル)

担 当 部 署: 東京大学教養学部等事務部経理課研究支援チーム小林幸太郎

(トウキョウダイガクキョウヨウガクブジムブケイリカケンキュウシエンチーム

コバヤシコウタロウ)

E - m a i l : 教養経理課研究支援チーム <ken9.c@gs.mail.u-tokyo.ac.jp>

U R L : <https://www.gifted.c.u-tokyo.ac.jp/home>

<https://www.gifted.c.u-tokyo.ac.jp/research>